

あらすじ

ある家のある台所に、ある金色に光る大きなお鍋がありました。そのお鍋には、不思議な言い伝えがあります。お家の人がいなくなると、鍋の中から美味しい匂いがしてくるのだとか。すると、鍋からカレーが食べたいスパイスの国の魔法使いさんが現れたよ！魔法使いさんは、果たして美味しいカレーを作って食べることができるかな。

登場人物

スパイスの国のまほうつかい
たまねぎ伯爵
にんじん忍者
じやがいも博士
コック チキン
チヨコレート王女
ナレーター

○キッチン

アラビックな音楽が流れてくる。

キッチンに、金色の大きな鍋が置いて

ある。

鍋の中には、大きなおたまが入って

いる。

ナレーター「あるところに、ある一軒の大き

なお家がありました。そのある一軒の大き

なお家には、ある台所があり、そのある台

所には、ある金ピカに光る大きなお鍋があ

りました」

ゆつくりとまわりはじめるおたま。

ナレーター「そしてそのある金ピカに光るお

鍋には、ある不思議な言い伝えがありました

た。そのお家の中に、誰もいなくなった時、

まほうつかいが現れるというのです」

鍋の中から顔を出すスパイスの国のま

ほうつかい。(以後スパイスとする)

スパイス1 「誰かいるかな」

スパイス2 「誰もいないよ」